資料　2－5

SPEED'98において優先的に検討すべき物質とされた６５物質の検討状況　(2005年3月現在)

註：***ブロック斜体***はPOPｓ対象物質

SPEED'98優先して調査すべき物質

６５物質(群) → **69物質(群)** → **66物質**

同じ番号の４物質
・HCHとｴﾁﾙﾊﾟﾗﾁｵﾝ
・pp-DDT,op-DDT
・DDEとDDD
・ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙと4-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ

別途検討物質3物質群
・Dxn
・PBB
・***PCB***

２６物質

ｱｼﾞﾋﾟﾝ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｱﾐﾄﾛｰﾙ、塩化ﾄﾘﾌｪﾆﾙｽｽﾞ、塩化ﾄﾘﾌﾞﾁﾙｽｽﾞ、ｵｸﾀｸﾛﾛｽﾁﾚﾝ、4-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ、2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｰﾙ、4-ﾆﾄﾛﾄﾙｴﾝ、ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ、ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙ、β-ﾍｷｻｸﾛﾛｼｸﾛﾍｷｻﾝ、trans-ﾉﾅｸﾛﾙ、pp-DDD、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｼｸﾛﾍｷｼﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾉﾝ、ﾍﾟﾝﾀｸﾛﾛﾌｪﾉｰﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾍﾟﾝﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾍｷｼﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾌﾟﾛﾋﾟﾙ、ﾌﾀﾙ酸ﾌﾞﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ、***pp-DDT、ﾍｷｻｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ、cis-ｸﾛﾙﾃﾞﾝ***　　····試験終了

下線を付した3物質については、魚類に対する内分泌攪乱作用が推察された

１０物質

ｹﾙｾﾝ、ﾏﾗﾁｵﾝ、ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ、pp-DDE
ｴﾝﾄﾞﾘﾝ、ﾃﾞｨﾙﾄﾞﾘﾝ、ｱﾙﾄﾞﾘﾝ、ﾍﾌﾟﾀｸﾛﾙ、ﾏｲﾚｯｸｽ、op-DDT　　····試験実施中

３０物質　試験未実施　文献調査終了

2物質　未測定

- ｱﾙﾃﾞｨｶｰﾌﾞ····一般環境で適用できる分析法が未確立。なお、国内の登録実績はない
- ﾒﾁﾗﾑ　····適用できる分析法が未確立

12物質　未検出

- ｴﾁﾙﾊﾟﾗﾁｵﾝ　····十分な検出下限が確保された測定において未検出
- ｷｰﾎﾟﾝ　····1媒体(大気) のみの分析実績で未検出であり、他媒体での分析法は未確立
- 2,4,5-ﾄﾘｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ酢酸、1,2-ｼﾞﾌﾞﾛﾓ-3-ｸﾛﾛﾌﾟﾛﾊﾟﾝ、ﾋﾟﾝｸﾛｿﾞﾘﾝ、ﾒﾄｷｼｸﾛﾙ、ﾆﾄﾛﾌｪﾝ　····未検出であるが十分な検出下限が確保されていない
- ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ、ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ、ｴｽﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ、ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ、ﾒﾄﾘﾌﾞｼﾞﾝ　····未検出であるが十分な検出下限が確保されているか否か検討中

16物質　検出

2物質

ﾍﾌﾟﾀｸﾛﾙｴﾎﾟｷｻｲﾄ、ｵｷｼｸﾛﾙﾃﾞﾝ
····濃度設定を可能とする信頼性情報なし

１４物質

2物質

ﾍﾞﾝｿ(a)ﾋﾟﾚﾝ (自動車排ガス等から発生する非意図的生成物)
ﾄｷｻﾌｪﾝ　(POPs、国内登録のなかった農薬)

１２物質

2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ酢酸、ｱﾄﾗｼﾞﾝ、ｱﾗｸﾛｰﾙ、CAT (ｼﾏｼﾞﾝ) 、NAC (ｶﾙﾊﾞﾘﾙ) 、ﾒｿﾐﾙ、ﾄﾘﾌﾙﾗﾘﾝ、ﾍﾟﾉﾐﾙ、ﾏﾝｾﾞﾌﾞ、ﾏﾝﾈﾌﾞ、ｼﾞﾈﾌﾞ、ｼﾞﾗﾑ
····濃度設定を可能とする信頼性情報あり